

# 廣田ギャラリーと奥日光の旅

Oct.25 and 26, 2011



高校時代の友人。廣田紀男君がギャラリーを開設したというので、栃木県下野市まで出かけた。メンバーは柴田クン、中村クン、水沼さん、畠山さんの4人。運転は中村クン。自治医大前の廣田病理学研究所には午後3時過ぎに到着。だが、廣田先生はお仕事中和のことで駅前の喫茶店に入る。コーヒー1杯で2時間粘り、その後ギャラリー見学。



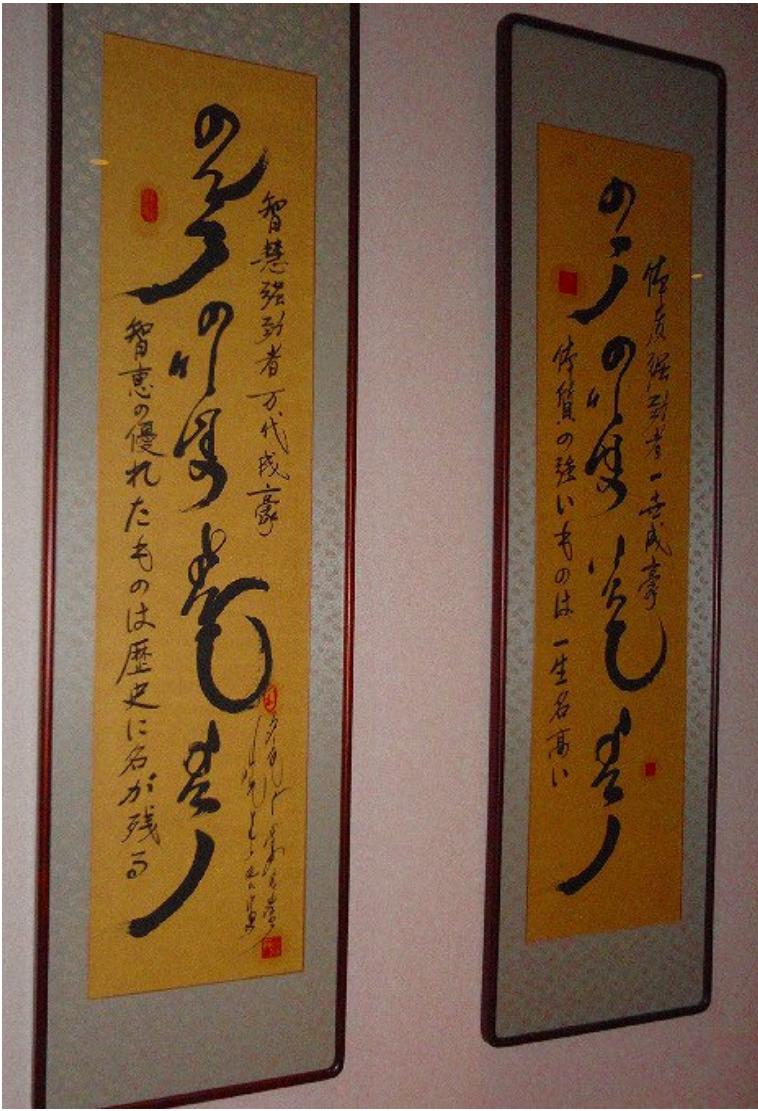
最初に案内されたのは八角形の会議室(?)  
床の木目が机とマッチして、壁にはアンモナイトを  
象徴する和紙の照明。天井のライトも和紙で出来て  
いて、素晴らしい雰囲気。



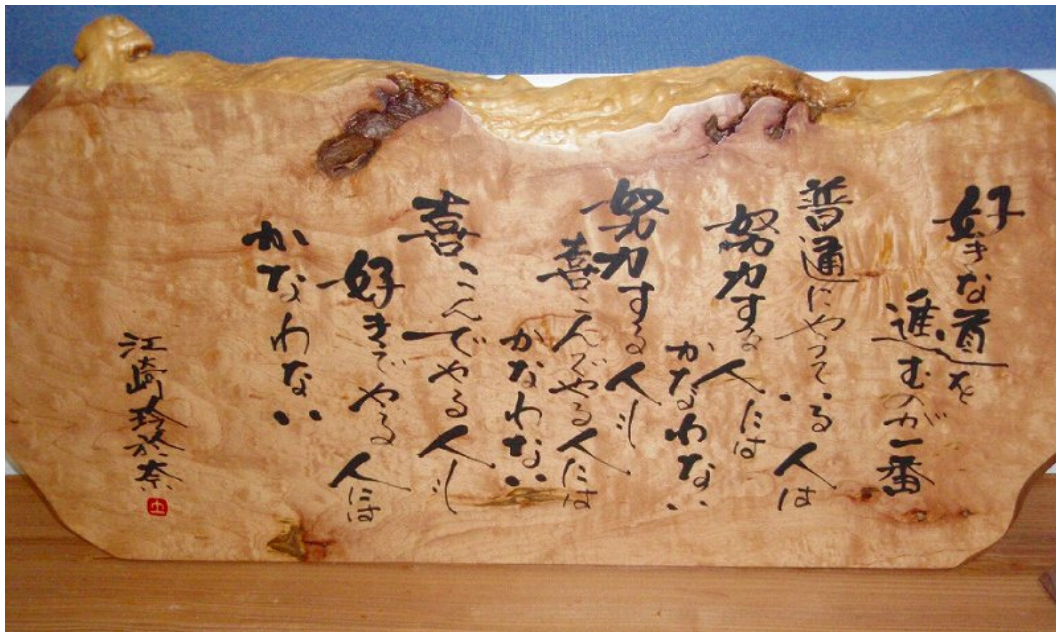
廊下にも面白い作品が！

左は、モンゴル語、中国語、日本語で書かれた珍しい掛け軸。廣田先生は各国から病理学関係者を研修目的で招く機会が多い。その会合で頂戴した書らしい。当然ながら、このギャラリーは研修センターとしても使われる。

下は、ヒノキの一枚板に書かれた著名書家の揮毫。「鐵牛」とは鉄の牛で、水中に沈めると水難を鎮めると言われた。また、「堅固不屈の人」を表わす。廣田先生は「鉄牛」かも…



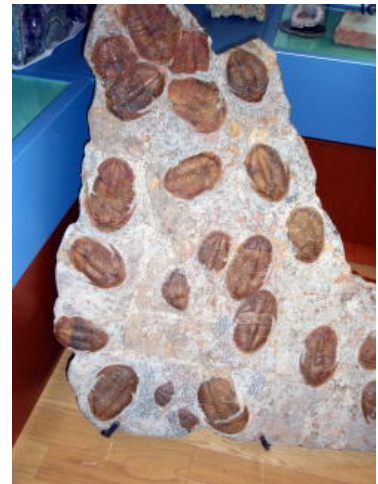




こちらは江崎玲於奈氏の揮毫。慶応の英文科を出て、雑誌記者→プロの将棋指し→医師と華麗なる転身。趣味としては、化石のコレクションと銘木の木工をライフワークにした廣田君にはピッタリの言葉！



化石のコレクションも凄いが  
とても全部を紹介できない。  
此处ではお宝を2点。  
左はエメラルドの原石。  
右は三葉虫の化石。  
お値段は？ ン百万円？



25日は廣田宅で豪華な  
バーベキューを御馳走に  
なり、一夜の宿を提供して  
いただいた。  
翌朝、朝食の御馳走まで  
頂戴して、皆でそろって  
記念写真。  
お嬢さんの由佳さん(トテモ  
可愛い!)が出かけた後で  
残念！





26日も快晴。廣田木工所（兼果樹園？）を拝見してから夫妻に見送られて日光中禅寺湖へ。実は上のような紅葉を期待していたのだが、それほどでもなかった。湖畔の古びた茶屋で蕎麦を食べた（柴田君感激！）。その後、華巖の滝を見物。大混雑の日光を後にした。



紅葉は大したことなかったなあ

夜の7時過ぎ、出発地点の田園調布に到着。ファミレス「華屋与平衛」で打上げの食事をして解散。往復 500km 近いドライブでした。

